（一日夕刊）

磐城新聞

休刊　大祭日　第一・第三日曜
定價　一部二錢郵税　一ケ月六十錢　十五錢
廣告料　意行六十錢　指定廿錢　增
発行兼編輯人　福島縣平町田町十六番地　鹽沼龍輔
發行所　磐城新聞社　電話五六四番

平水道部の前年決算の内容
町會に報告さる

平町特別會計水道部昭和三千三十五圓三十錢減である年度決算は目下開會中の同町會に報告されたが決算額は歳入八萬七千七十一圓八十八錢、歳出經常部六萬九千六百二十二圓六十一錢、同臨時部一萬五千三百九十二圓四十三錢計八萬五千七五圓四錢で差引き二千五十六圓八十四錢でこれを内譯すれば臨時部、配水管布設改良費防火、井戸改良費、指定繰越金百六十二圓　水神鎮座費、水神祠建造費へ指定繰越金二百七十圓　翌年度へ繰越金一千六百廿四圓八十四錢となつた是れは豫算額に比較する歳入七千八百八圓十二錢減歳出經常部四千四百六十二圓三十九錢減臨時部四千二百五十圓五十七錢減　細目について主なる減減を示せば歳入使用料手數料二千八百三十七圓七錢給水工事費收入九百五十三圓六十七錢前年度繰越金二千七百四十四圓十九錢過年度寄附金四百六十六圓各減歳出經常事務所二千六十四圓二十八錢作業費七百七十四圓四十七錢豫備費一千六百圓各減歳出臨時費配水管敷設費及改良費四

石城産馬の豫算總會
役員の改選

石城産馬組合では既報の如く昨二十八日午後一時から平町各種團体事務所樓上に於て昭和五年度豫算編成並に一部役員の改選を行つたが昭和五年度豫算は一萬百四十二圓で昨四年度に較べると二千　一百二十八圓の減額であると尚新役員氏名左の如くである

（第二區會長）永山久助、（第四區同）柳井半三（評議員）蛭田千代之助、樋口幸工門、紫崎佐七、草野寅彌、志賀秀一

中の作漁港修築工事
國庫補助申請

石城郡江名町漁港は數年前縣費七萬圓の補助を受けドック式に第一期、二期の修築工事を終了したが最近船舶の出入多く爲めに狹隘を告ぐるに至つたので同漁業組合では本年から同町中の作漁港を工費四萬圓を投じ之が修築工事を起すことになり國庫補助金一萬六千圓交附方二十八日佐藤江名漁業組合長から縣の手を經て本省に申請した

平町豫算町會
全員を委員に擧げて
五日に本會議

平町會の休會明け本會議は一日午前十時より開き一般豫算に對する各議員の疑問に對し當局の應答あり本稿締切りまでには何等の纒まりを見ないが全員を豫算委員に擧げ明二は休會三、四の兩日委員會を開き五日本會議を開くことになるらしい

神谷農事實行
村農事實行組合では來る十日午前十時から同組合長一里傳氏方に於て昭和五年度豫算編成の總會を開催する

※……二月　三月
明日……蟄月　彌月
吉の凶……暦三　暦二
※……日　日

▲一白　名利共に擧がる日

思ひ切つて事を企てあやまらず体裁をやつてゐるとかの事がないばかりでなくビタ一文の報酬も受けなかつた。

貧笑婦の嫌疑で到致された事が、どうしが妾か嫌になる筈があるでせう。結局妾は何も努めて避ける必要はないと思つてゐます」とシアしてゐる。これ女セックスの先驅者か？

×

この頃「友愛結婚」と云ふ言葉が流行じて來た。友達それの如く交際してと云ふよりもむしろ性生活も始めてそれで互によかつたら永久的の結婚生活に入り若し嫌だつたらバス・コントロールで子供の出來ない限何時でも離婚するのだと言ふ。

×

一九三〇年の性の世界——は創世記のアダム・エブの時代に逆行し動物の世界に立ちまれて來た。大和撫子の女性は日本の何處をたつねても見當らなくならう。ノアの箱舟が必要になつて來るア……

らくがき□□□□
北見晴雪

スチッキ・ガール、マネキン・ガールの時代は昔事、十九三〇年——デヤズ文明の尖端には次々と形を變へて移りガールとボーイは躍り出る。偽は正に春暖候

×

東京は丸の内——マネキン・ボーイ進出。生活戰線異常ある昨今、ダンゼン尖端的職業のトップを切つたわけ、そこに何程かのイット・が認められたと見え早くも大多忙？

統計局の調査——（日本内地のみ）料理屋と待合——二十二萬一千有餘軒、藝者八萬四千有餘人。酌婦十一萬一千有餘人。娼妓四萬五千有餘人。こゝ合計二十四萬有餘人。

更にカフエーの女給、私娼。主人公、番當の仲居、中等の庸人をも合して百萬人の人數が女性の肉を賣買、或は媚の賣買によつて生活してゐる。ビユリタンの人がこの事實を知つたら

ドイツでは男女混合の裸体ダンスをやつてゐるとか裸体美の陶醉か？刹那の快感か？不感受性の養成かいづれにしても日本の鈴さん婆さんに見せたら、目をむいて卒倒する。

×

敏子は高女を出るとすぐ丸ビルの某會社にタイピストとして雇はれた。重役の操を提供したのを始りに社員の誰彼の區別なく身を委した。それ以來往復の電車内で識つた男と云ふ男。いやしくも彼女の美貌を慕ひ寄るあらゆる男の求むるまゝに頗る簡單にその意に從い、いまだ曾て一度も例ねない事がないばかりでなくビタ一文の報酬も受けなかつた。

貧笑婦の嫌疑で到致された。

妾を好いて呉れるのでもの、どうしが妾か嫌になる筈があるでせう。結局妾は何も努めて避ける必要はないと思つてゐます」とシアしてゐる。これ女セックスの先驅者か？

×

この頃「友愛結婚」と云ふ言葉が流行じて來た。友

幕末奇傑高山彦九郎
講談
中西洋々作　布施長春畫

（79）

假初の宿（四）

神邊の里は、備後でもすつと山中に入り込んだ片田舎でございました。

今日では福山から、兩備鐵道といふのが出て僅か二十分足らずの汽車旅行で行きつくことが出來ますが、その頃は、まだ山路の、大變歩きにくい所でムりました。

本谷から夜道を岡山に出て、一旦そこに宿をとり翌日改めて、山陽道を西へ、福山へ向けて、道をとりました。

泊りを重ね意地悪い冬の雨に一日を空費したりしながら福山の手前を笠岡に行きついたのは三日後の十二月十八日のことでありました。

とつぷりと日は暮れて、前方から一つだけはかないもしなされすいづれへた越またゝきを續け乍ら、近づしなされるお積りでございますか』

「拙者か」

云はうか、云ふまいかとちよつとの間躊躇ひましたが、別に怪しい男とも思へませんので……

「福山から神邊へ參る」

とありのまゝを答へました

「なんと仰言います福山から神邊へ？」

すると、相手の男は不審さうに問ひ返しましたが

「それでは、あなた道を間違へてゐらつしやいます。そちらへいらしたのでは山へ行き當るばかりでございますよ」

「ね？なんと申す。それでは、これは山陽本道ではないのか」

しかしその夜の中に福山まで行きついて、宿を決めようと心に決した彦九郎宿ひきの女の聲にも耳をかすず、その町を通り過ぎてしまひました。

が、笠岡から福山までは、いつても、五里に近い道程です。殊に、それが夜道だ、笠岡から福山まで、ぱつたり行き逢ひました、と二三歩行き過ぎた時

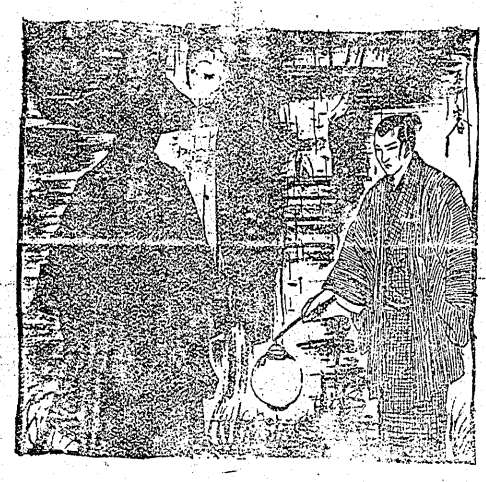
「もうし」

思ひがけず、今すれ違つた男が聲をかけました。落つきのある中年の人の聲です。

「暫らくお待ち下さりませ」

彦九郎は、不審に思ひ乍らも歩みをとゞめて、振り返りました。

「おとめなされたのは拙者し見ましたがそれも後、祭りです。この寂しい夜道、すかた後を振り返つて見ても前方をすかし見て還りすかりの旅人ののそれらしい提灯の光りさへ見ねませんな言葉で禮を返しました



三里程の道をそれでもようしう〳〵辿り歩いた時でした

「あのう、失禮でございますが、この夜道を灯りも灯もしなされずいづれへた越

「なんと仰言います福山から神邊へ？」

すると、相手の男は不審さうに問ひ返しましたが

「それでは、あなた道を間違へてゐらつしやいます。そちらへいらしたのでは山へ行き當るばかりでございますよ」

「ね？なんと申す。それでは、これは山陽本道ではないのか」

今度は、彦九郎の方が怪しく問ひ返しました。

大和田醫院

ちなし▲二黒　浮き腰にし物に貪入らず動きは慎むべし▲三碧　進路を誤り深みに落ち込み易き日家居安全▲四綠　次第に吉に向へども金談は成るべく避くべし▲五黃　氣に緩みを生ずるときは意外の失敗ある日▲六白　鬱氣に閉ざされ晴れ〳〵とせざる日旅行移轉凶▲七赤　折り返す波を渡る如し一瞬の油斷もならず▲八白　物議を生じ易し口入れ事は成るべく避くべし▲九紫　内の小事を後に外の大事を處理して吉き日

貸地廣告

平町郡役所より税務署附近の新開地に五百餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極ぐ安値にお貸しいたします

御希望の方は電話なり或げば社員がに伺ひして親しく御相談に應じます

小名濱商事株式會社
平出張所
電話　六〇三番　五四一番

平町田町
高久病院
醫學士　高久忠清
新潟醫學士　赤羽雄
藥劑士　佐竹菊
電話五一三番
内科、小兒科、外科、花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科、

平町田町
特約店　廣瀬支店
電話五四一番

營業目種
内地材
材木各種、羽柄材各種
建築諸材請負
礦山用坑木其他諸材請負
外材部
米松、米杉、大角製材調達
請負　其他
佐藤材木店
常磐線平町新川町
電話三三五番

平町五丁目角
大販賣店　山野邊藥局

無料檢眼　TOKIWAYA
眼鏡……遠視　見視力
檢査表を無代で呈進
無料檢眼　開始致シマシタ
專門眼科醫師擔任
御客様本位
……良品廉價
……商品豊富
……親切丁寧
……即時調整
……示度正確
遠視　斜視　亂視　老視　近視
無料檢眼御利用下サイ　眼鏡部　電話九三三
平町一丁目　常盤屋時計店

磐炭から戸部氏へ
小野田、長倉を委託經營
愈々今三月一日に發表さる
救はれた一千の勞動者

磐城炭礦の經營に係る磐崎村小野田、長倉兩坑は開坑五十年の久しき老境坑にして炭礦不況の折柄缺損續きに惱む磐炭會社では右二坑に對し休山或は廢坑等の處置に出でることの得策なりしは既に明かなことであつたけれども同坑に就役員六十名勞動者八百餘名を擁してゐるので一時に之れ等の失業者を出すを潔よしとせず在苒今日に及んでゐたが磐炭會社と戸部光衛氏(磐崎炭礦經營者)との間に交渉成立し會社は從業役職員並職工坑夫を其の儘繼承し三月一日より戸部氏に委託經營をせしむることゝなり今一日午後一時正式發表と同時に從業員に夫れ〳〵言渡したが豫ねて休山等のあるべきを豫想してゐた一般從業員等は寧ろ此の僥幸に喜悅し極めて平穩裡に始終してゐる

缺損の癌を取去る
磐炭の甦生策
戸部氏の仁俠と委託經營の眞相

廢坑か休山かを豫想されてゐた磐炭の小野田、長倉兩坑が今三月一日から磐崎炭礦主戸部光衛氏の手に委托經營されることゝなつたのは磐城炭礦會社の英斷と戸部氏の仁俠に出でたもので あるが交渉成立までの經過を聞くと

小野田、長倉の二坑は前記戸部氏の經營しつゝある磐崎炭礦と坑道最も接近し若し磐炭が右二坑を廢坑或は休山等のことある場合小野田、長倉の坑内水は用捨なく磐崎炭礦坑内に浸入するは明かなるにして

此の必然的危惧を苦慮した戸部氏と磐炭會社との交渉か容易に成立したものである、一方約一千名近い勞働者の失職を慮り辛じて經營して來た磐炭會社は此の委託經營により從來の缺損を補ふ組員は云ふに及ばず四倉町民として氏の辭任を惜んでゐるが氏は組頭に就任すると共に組の發展、火防上施設督勵組員の向上等に幾多努力せられたる功績多大なる組員は云ふに及ばず四倉町民として氏の辭任を惜んでゐる

四倉消防組頭
辭任
門馬氏の功績

四倉町消防組頭門馬倉次郎氏は此度一身上の都合で辭表を提出したが氏は組頭に就任すること組の發展、火防上施設督勵組員の向上等に幾多努力せられたる功績多大なる組員は云ふに及ばず四倉町民として氏の辭任を惜んでゐるが氏は組頭を辭して も今後益々消防組のため指導啓發に努めると

算術研究會
八日平第一校で

平町外三十三ケ小學校教育職員から成る算術研究會では來る八日午後一時から平第一小學校で發評研究會を催すと

妻を凹ます
狂言自殺
四倉の騒ぎ

石城郡四倉町中町飲食店モリヨシ事森茂藏(三三)は二十七日夜猫イラズを嚥み苦悶を始めたので大騒ぎとなり附近醫師を招いて手當を加へたが猫イラズをのんだ形跡はさらにないので不審に思ひ四倉署で内偵した結果右は狂言の苦悶と判明したが原因は痴情關係から出てたものである

因に之れが爲め小野田坑主任木村德三郎、長倉坑主任永崎今朝雄氏以下職員約四十名は夫れ〳〵休職となるの外ないが職工坑夫八百名と從業員二十餘名は他等の移動なく戸部氏に引継がれたが從來磐炭會社が苦惱の癌と言はれた小野田長倉坑の委託經營により磐炭も甦生の第一歩に近づいたものとして地方民からも喜ばれてゐる、

比佐代議士
全快して上京す

比佐代議士は選擧終了直後惡性の風邪の爲め靜養中のところ全快したので今一日は夏井と小名濱、明二日は内郷、宮、好間の各町村有志の祝賀會に臨み三日須賀川町の鈴木萬次郎氏の葬儀に臨み即日上京の豫定で郡や各町村有志の當選祝賀會は無期延期となつた

兵事主任會
七日平署に開く

石城郡下各町村兵事主任會は來る三月七日平署講堂に於て事務打合を開催すると

小川江總會
三日豫算付議

石城郡四倉町外六箇村一千二百餘町歩を灌漑する小川堰水利組合では來る三日午前十時から總會を開き五年度豫算を付議する筈であるが極力緊縮をはかつた結果前年度より二千圓を減額し總額一萬二千七十二圓となり組合員の負擔を反當八錢徴收したところ五年度は七十五錢に輕減し新規計畫一切を見合せたので總會は異議なく通過する見込である

平町會の昭和會を解散
其名の存續は誤解を招ぐと
民政黨の騒動愈々表面化

石城民政部會の御家騒動は這般の總選擧以來若松、野崎兩派の反目睨視益々甚だしく除名論さへ強硬に唱えられるに至つたが平町會議員中民政黨系の議員より組織されてゐた昭和會では斯くの如く既に公然分裂したる今日此の團体の名を存續することは社會より誤解を招く惧れあるから此際斷然たる處置に出つべきものであると主張に基き昨二十八日夜

萩原、吉田(五)吉田(寅)吉村、荒川、櫻井

這般の總選擧に當り此の昭和會の存在は寧ろ町民を迷はすものであるから直ちに解散し近く別に新團体を形成すべしとの意見一致し某々一派の暗躍に對し徹底的對抗する事を申合せ散會したが昭和會を解散して新たに出來る新團体には前記六氏の外水山(富)武田、佐藤の三氏も參加する筈である

色自慢の代議士
木村清治氏の事

今度の總選擧で文字通りの手にあせを握らせたのは木村さんと佐藤さんの同十討であつた、廿一日の開票初日では木村さんが三千五百餘票の多數であつたが、地盤關係を殘る相馬半分とフタバ全部が佐藤さんに歩があるので、つひには負けぬ木村さんも今度こそはとハラ〳〵させたものであ、しかし勝ち運が木村さんにむつなと見ゐフタバの廣野久之濱を開くに及んで漸く生色を帶ひ、結局五百近くのきはどい處で軍配があがつたのである。

◇

生色で思ひ出したが、木村さんは色で有名である、ワニ皮のつやけしまではまだ〳〵聞もあるが、とにかく日本人とは思へぬ異色である、世界では――あへて記者が名譽破損罪?を免れんためではない――赤銅居士と尊稱してゐる位に色に有名である、されば當選國粹破壞の色の持主である

◇

この色が木村さんを有名にしただけに、御本人もこの色を自慢してゐるのやうである、昨秋歸朝後の巡擧はなかつた」と聲を落とした後「かつて選擧に負けたことはなく、全勝のレコモウ選擧を爭ふ氣はない」といつてゐる、中央政界に乗出して大成を望むには年齢が許さぬにしても筆中の玉を失ふやうに思はれる。

◇

昨年萬國商事會議に出席のため渡歐された當時も、ある口の惡い同志の一人が「木村君の參加で日本の自由平等主義と平和愛好の强烈さが歐米國民の腦裡へ强く反響せしむるだらう、何となれば日本人が南洋の歸化人を代議士に當選せしむるほど寛容だから――」とか樂觀となり取卷連中をハ〳〵させたものである

しかし縣内一の樂觀者も今度の選擧ではよく〳〵氣をくさらせたらしく「こんなに不愉快でやりにくい選擧はなかつた」と聲を落とした後「かつて選擧に負けたことはなく、全勝のレコモウ選擧を爭ふ氣はない」といつてゐる、中央政界に乗出して大成を望むには年齢が許さぬにしても筆中の玉を失ふやうに思はれる。

しみ〳〵と述懐したほどに

◇

縣内一の樂觀者も今度の選擧ではよく〳〵氣をくさらせたらしく「こんなに不愉快でやりにくい選擧はなかつた」と聲を落とした後「かつて選擧に負けたことはなく、全勝のレコモウ選擧を爭ふ氣はない」といつてゐる、中央政界に乗出して大成を望むには年齢が許さぬにしても筆中の玉を失ふやうに思はれる。

桃の節句の由來
お雛祭の事ども

雛祭りは五節の制(人日上巳端午、七夕、重陽)の一つ上巳端午、七夕、重陽)の一ついふものが廢された今日でも、なほ盛んに行はれてゐます。三月三日

上巳

といふのは、初めといふ義で昔は三月初めの巳の日を用ゐて上巳節會としたのです。今から千年ばかり前、承平頃に起つた人形の祓に起原されたに祭でその當時この三月の初めの巳の日に、人形に切つた紙で體を撫でさすり、その年の惡事災難をその人形にかづけて川へ流しや祓の式から、段々人形、雛形か玩具の雛合せとされて上巳の日に持て遊ばれるやうになつたのです。そして御土御門院の御後頃から千支にはかまはず三月三日を三月節會の式日と定めて雛祭りを行ふことになり、

這子

といつて紙でつた人形に着物を着せて遊んだもので、これをアマガツと呼んでゐました

例の源氏物語りの若菜の巻と云ふに紫の上がアマガツを造りたまふ件がありまして、その抄にアマガツは三歳までこれを用ゐる、すべての凶事をこのアマガツが身を撫でる水の邊に身の負はせると云ふやうなことが見えてゐます、その這子はその後布で造る天兒になつて來ました、家庭の行事として平安朝の頃は三月巳の日に陰陽師を召し祓をさせ例の人形を川に流す行事がある、源氏物語りの光る源氏が須磨の浦にこの人形を船に乗せ、須磨の浦に流したと云ふやうなことが出てゐます。

男雛　女雛

祭つたのは人形だけで、飾り物も貝桶、伽羅ひ子と云ふ物に過ぎませんでしたその雛が次第に盛んとなつたのは雛祭りの節句に加へられてからです。尤も元祿時代には床の間に毛氈を敷き、その上に

雛と名付け又母子と名付けたのは人形を以て母と子の身を撫でる水の邊に身の凶事を解き除くことから名付けられたのです、このやうな雛祭りも德川時代に至ると漸く雛その物が祭られる事に轉じて室町時代の末には、江戸に飾り物として遊びは、江戸に飾り物として流行するようになりました。

現代

になると漫畫モダンひなまで參加したのは一見して子供にその區別が出來たおひな樣、全く區別のつかない樣な品種をさへ數へさせる樣になりました。そして明治の初めには段飾りの飾り方が漸く研究された、そこに一系亂れない階級制度を維持したものが今では漫畫式の滑稽人形を加へて雜然たる形式のものもあるやうになりました

紙雛からすゝんで内裏雛系統のうつくしい物になつて來るやがて臣下の隨身とか官女とか必要になつて來る、人形の數が殖えれば從つて一段に飾れなくなる、そなへ物も昔は簡略で菱餅と繪櫃をそなへるに過ぎなかつたものが食膳を別にそなへる樣になつて來る飾り方も各自氣まゝに發達したものが種々考へられ、しやがて武家には武家の風町家には町家の風の飾り方が期せずして一定するやうになつて來ました。ひなの種類も段々殖えて來るその如何に多いかは上野博物館の歴史部などで見たゞけでもかなり澤山のものがあるので判りますが

四倉教育映畫
四倉小學校に於て二日午後六時より縣教育會主催の活動寫眞が有る筈で教育映畫で町會議員門馬倉次郎氏の祝辭大浦村酒井良平氏の祝辭等あり代議士木村清治氏の答辭あり萬歳三唱宴會にうつり午後四時盛會理に閉會せり有志出席三百餘名であつた

常盤屋の
無料檢眼

平町一丁目常盤屋時計店では眼鏡を使用する一般顧客の爲め奉仕的同店獨得の無料檢眼を始めた、即ち從來眼鏡をかりる人々が視力と一致せぬ不確實な眼鏡を使用する爲め益々眼を損ふ樣なことのあるのを憂ひ此の弊を絶對ならしむべく同店では一般御希望の方へ無料檢眼票を進呈し平町星、明雲堂、吉田、新妻、鈴木の各眼科醫で檢眼を受け今後完全無缺な眼鏡を提供することゝなつた

四倉の祝賀
木村氏當選祝

四つ倉町大浦、大野村民合同の代議士木村清治氏の當選祝賀會二十八日午後一時村農事實行組合では明二日午前十時同村小學校に於いて石城郡農會事務所から藤田技師を迎ひ盛大な發會式を行ふと

川前農事組合
川前

赤井の賭博
一網に六名捕る

赤井村大字高萩小路尾柳田順次郎(三四)宅に於て去る二十七日午後十時頃順次郎以下五名が連座となつて花合札現金賭博開張中平署巡査に踏み込まれ

大野村駒込高木隆安(四)平町北目町一二草野一郎赤井村馬車挽業大平淀三郎、上小川村農業菅原七郎、上小川村農業松本丈之助

以上六人は一網打盡に逮捕されたと

果樹組合
明年度の豫算減

石城郡果樹組合では本組既報の如く昨二十八日午前十時から平町各種團体事務所樓上に於て昭和五年度經費豫算決議會を開ひたが昭和五年度收入金總額二百七十六圓で昨昭和四年度に比すれば十七圓の減 ある、支出金總額は二百九十三圓で昨四年に比すれば十七圓の減であると

植田牛馬組合

石城郡植田牛馬商組合は廿八日午前九時より植田警察署内に總會を開催し帳簿檢閲署長の訓示等あり若松屋旅館に懇親會を催すと

平町人事

△出生

舊城跡坂本豊長氏三女久子

六間町相川勇氏長女文代

久保町渡邊儀四郎氏長女佐智子

鍛冶町小林義平氏五男久松

村長助役は減額し
村議は無報酬
緊縮豫算の編成に
玉川の自治美談

石城郡玉川村の昭和三年度決算及び昭和五年度歳入歳出豫算は滿場異議なく昨廿八日可決確定したが同村長駒木根忠三氏は犧牲的に白分の報酬を月額四十圓を十五圓減額し助役丹野寅吉氏も四十五圓を十五圓に減額した爲め村會議員も感激し各自の使用辨償料及雜費迄を全部提供して無報酬で村の爲に盡す事になつたが緊縮實行預算の犠牲として此處が多いであろうと

蓮沼氏上京
本社副社長蓮沼龍輔氏は一日朝急にて上京來る五日頃歸平の豫定

無罪廣告

私儀去る一月中軍鷄賭博事件の被疑者として平署に檢擧取調べを受け候こと各新聞紙に報導され親戚知人各位に御心配相掛け候段誠に申譯け之無候、然るに事實私は單に何心なく物珍らしく現場見學したるのみにて賭博等をなしたるものに非ざること判明し青天白日の身と相成り候ものにつき誤解なき樣此段廣告仕り候也

昭和五年三月一日

石城郡高久村

葉谷久太郎

各位

◎診療開始

耳鼻咽喉科專門

日本醫大醫學士院長　鈴木正男

齒科口腔外科

日本齒科醫學士科長　高橋正永

◎晝夜診療

下谷區入谷町二九一

入谷改正通り東交番前六間通り

鈴木醫院

◎内臓外科

◎外科一般

◎花柳病科

入院隨意　自炊の便あり

下町田町赤心堂病院跡

安齋外科醫院

電話四三六番

毛糸編物講習

生活改善は衣服から、消費節約も衣服から

發育盛りの小供には毛糸編物が第一

夜間輕便文化器の編物を無料講習致します、どうぞ御遠慮なく御出で下さい

平町田町　藤田女學校隣

ハシモトヤ糸店

入院隨意(自炊の便あり)

X光線科

外科專門

平南町

上田外科醫院

電話一二一九

增築落成

病室完備